

安保破棄ニュース

No. 564
2024. 4. 12

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六一六七六三一一三三三三
FAX 〇六一六七六三一一三三六
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

安保破棄実行委員会 いかにたたかうか！

安保破棄大阪実行委員会 2024年総会



定など、個別の問題に関しては国民多数が反対していることなどから、「具体的な問題を告発していけば支持を得られる」「変えられるという実例をつくって展望を示していくことが大事」「アメリカいなり政治外交は絶対のものではないのだということ国民の中に広げていくことが大事」「軍事同盟によらない平和を看板にして、国民のくらしの要求と結合して訴えていくことが必要」と、これからの安保破棄運動の方向性を示されました。

講演後、特別報告として、「大軍拡・大増税NO！八尾連絡会」の佐藤さんから、自衛隊強靱化、土地利用規制法、自衛隊への名簿提供問題などにかかわる八尾市での状況、運動の経験などについて話していたいただきました。パワーポイントなども使い、八尾駐屯地の説明から、八尾駐屯地で最近行われたエアーフエスタ（市民に開放する八尾駐屯地創立記念行事）の様子、現在進められようとしている強靱化の問題などに関して詳しく話され、八尾市内でどのように反対運動を進めているのかということについても話されました。



特別報告をする
佐藤さん

後半は、総会議案、会計予算・決算の報告、討論などを行いました。

3月17日の13時半から大阪府社会福祉会館にて、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会総会を開催しました。
前半に、安保破棄中央実行委員会事務局長の東森さんから「安保破棄運動の今日的役割とは何か」というテーマで講演をしていただきました。

東森さんは、「今の運動のキーワードは、アメリカ言いなりをどうたたくか」と話し始められました。「安保3文書」は実質日米安保の大改編であるということを、この間の情勢などを踏まえながら、今、その具体化が進められている状況を話されました。また、5年間で43兆円と言われている軍事費は、ここにとどまらないということを、10年ローンを可能とした後年度負担と円相場の問題（43兆円は、1ドル108円で計算されている）から話されました。今年度のローン残高が14兆円あり、そこから見ても60兆円にはなるということ。さらに、5年間ということは岸田政権が言い出したことであり、「反撃能力」を確立するためには、10年は必要と言われていることから、5年では収まらないということも話されました。

日米安保条約は、世論調査では8割以上の人が支持している状況がありますが、「2国間同盟でいいのか」ということに関して、反対が多いということや、辺野古新基地建設、オスプレイ配備、日米地位協



講師の東森さん

2024年の取り組みとして、「土地利用規制法」による「注視区域」指定に対応し、「強靱化計画」に対する取り組みとして、地元地域とともに活動していくこと。沖繩の実態を多くの人に知らせていくため、近畿安保合同での沖繩ツアーを計画する。自衛隊の名簿提供問題に関して各自治体への働きかけを行う。安保破棄の運動としての節目の日の行動として、現行の安保条約が発効した6月23日の行動を、前日の6月22日（土）に行うことなどが確認されました。



議案提案をする
守山事務局長

討論の中で、新婦人大阪府本部の秋元さんが、自衛隊が市民生活や防災訓練、教育現場に入り込んでくることに反対している活動に関して報告されました。この間、小学校の防災訓練に自衛隊が来たこと、学校に自衛隊の行事案内が配られたことなどに對して、すぐに関係部署、教育委員会、区役所などに抗議の声を上げていることなどを話されました。



新婦人大阪府本部
の秋元さん

大阪港を 軍事利用させないために



米強襲揚陸艦アメリカ



港湾局との協議

3月28日、私たち安

保破棄大阪実行委員

会・大阪平和委員会・

大阪原水協・非核の政

府を求める大阪の会の

四者は、大阪港湾局と

の協議を行いました。

これは、去る2月27日

から3月2日の間、米

強襲揚陸艦アメリカが

大阪港に入港すること

に反対し、大阪市に対

して、入港を許可しな

いことを求める要請書

を提出し、文書回答と

共に直接の協議を求め

ていたことによるもの

です。

残念ながら、文書回

答においては、ほとん

ど昨年の回答と変わら

ず、米艦については、日米安保条約、日米地位協定により、結局は

ての態度を変更することはありませんでした。

しかし、協議の中では「大阪港は、神戸や横浜などの様に官製の

港とは違い、市民の経済活動のために、市民が造ってきた港。そう

いう歴史的な背景は、キチンと説明していかなければならないと思

う」など、日本国憲法が定める地方自治体の職員としての矜持を感

じる言葉を聞くことができ、なんとかして米軍艦の入港を食い止め

大阪港を軍事利用させないための努力をしておられることが分かり

ました。(ここでは文書化を控えることをご理解ください)

諸団体の取り組み、当面の予定など

4月

- 15日(月) 自衛隊饗庭野演習場視察行動 近畿安保
- 17日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪安保事務所 2階
- 22日(月) 近畿安保合同会議 15:00～ オンライン
- 23日(火) 大阪安保 23 宣伝行動 12:00～ 淀屋橋

5月

- 1日(水) メーデー
- 3日(金) 輝け！憲法 平和といのちと人権と おおさか総がかり集会
13:45～ 扇町公園
- 13日(月) 自衛隊八尾駐屯地・八尾飛行場視察行動 近畿安保
- 15日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00～ 大阪安保事務所 2階
- 23日(木) 大阪安保 23 宣伝行動 12:00～ 淀屋橋

23 宣伝行動

3月の安保破棄大阪実行委員会 23 定例宣伝行動を 3月25日の昼12時からいつもと同じく大阪市庁舎近くの淀屋橋で行いました。今回で通算423回目の23行動となります。宣伝直前まで雨が降っていましたが、宣伝の時間にはやみ、ビラ配布、プラスターをもってのスタンディング「代執行による辺野古新基地建設工事の中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名協力呼びかけ、弁士による訴えを行いました。14人の参加でした。弁士は、日本共産党、大阪労連、大阪のうたごえ協議会から出いただきました。弁士からは、8兆円にもなる軍事予算、武器輸出の問題、オスプレイの飛行再開の問題、岸田政権が進める大

軍拡の問題、憲法9条を活かした政治こそ大事ということなどについて訴えました。また、「基地をなくすには安保条約をなくせばいい。安保条約を廃棄するのにアメリカの同意は必要ない」「アメリカ軍は日本を守るためにあるのではない」など、日米安保条約について考えてもらえるきっかけになればという訴えもしました。

うたごえ協議会から「ちばりよ～沖縄」合唱団の方々も参加してください、沖縄をテーマとしたオリジナル曲を含め3曲歌われました。

4月の23宣伝行動は、4月23日(火)です。



ただ、米軍艦の大阪港入港に関しては、大きな二つの問題をはらんでいます。

一つは、日本国内で実施される米海兵機動展開隊及び海軍と陸・海自衛隊との共同訓練(アイアン・フィスト)の最中の軍艦が、大阪市会において全会一致で「大阪港の平和利用に関する決議」が採択されている大阪港に入港するということです。

もう一つは、政府が「平素から訓練で使用することによって、有事の際に空港・港湾を円滑に利用できるようにするため」に、「特定利用空港・港湾」を指定しようとしている状況の中での入港だということなんです。

どちらの問題からでも、私たちは大阪市に対しては、市民が安心・安全に暮らすことができるように努めるという日本国憲法に掲げられた地方自治の本旨に立ち返り、戦争につながる米軍艦の入港を拒否する、9条を持ち「非核三原則」掲げる国の自治体となることを求めたところです。

そして同時に、「アメリカ言いなり」の自公政権の政治、大軍拡政策のために、戦前に詠まれた「戦争が廊下の奥に立っていた」という句が示すように、私たち市民の日常に、戦争が忍び込んで来ている真実を伝える、一層の努力が問われていると痛感しました。

日米地位協定の抜本改定、そして日米安保条約破棄のために、共にがんばりましょう。